

学生作品展終了報告書

統括 環境デザイン学科 インテリアデザインコース 藤原 卓也

本年度 9 月 22・23 日に開催された学生作品展の報告をさせていただきます。内容は、総来場者数・学生作品展全体に関わる良かった点・悪かった点とします。

■ 総来場者数

場所によって計測ができなかったり、計測がしっかりと行えていない学科があり、正確な数字ではありませんが、21 日のプレオープン、22・23 日合計して延べ 12,018 人となりました。

■ 学生作品展で全学科に繋がる良かった点

・多数の来場者に来てもらった

多くの学科で、たくさんの来場者に来てもらうことが出来たという報告があり、高校生や一般の方からのリアルな意見・感想をもらうことができました。

・各学科の特色、新しいことに挑戦

今年も去年度と同じく、各学科の特色をそれぞれ出していこうという方向性でいき、その結果、各学科で作品はもちろん、会場構成でも展示空間を工夫し頑張っていた所が多く、また、苦労したこともあったようですが、今年新しいことに挑戦し、良い経験を積んだという学科も見られました。

■ 学生作品展で全学科に繋がる悪かった点（反省点）

・学科同士の結びつきが弱い

各学科ごとの特色をだそうという方向性でいったため、作品展が学科内で終結してしまい、学生作品展といったものの、各学科の学科展になってしまいました。

・参加意欲

代議員や一部のやる気のある人だけが率先してやり、それによって一部の人間だけに負担が掛かるという報告があり、学生全員が参加し一つの物を作りあげるという意識が弱いように見えました。また、作品展がどんなものか分かっていない学生もいたようです。

・宣伝不足・案内不足

作品展を知らない、場所がわかりにくいという声があり、そうしなかったためには事前に全体・各学科で告知をし、場所が悪い所はそれ用にしっかりとサイン計画をすべきだったと思います。

・来場者への対応

受付スタッフはいたものの、来場者に対して挨拶のみで終わってしまったという報告が多々あり、形だけのスタッフになってしまっている所がありました。

■ 今後の動き

来年度、上に挙げた反省点はもちろん各学科であがった問題点も新 3 回生にしっかりと引き継ぎ、より良い学生作品展にしてもらうことが 3 回生としての最後の仕事です。

各学科別の報告書は学生サイトにアップします。